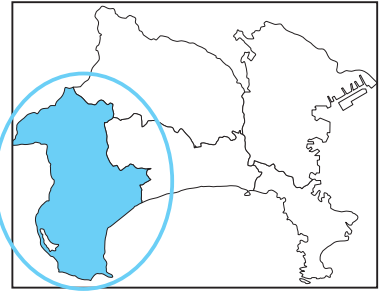


県西地域圏における主な取組み

豊かな自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、国内外から来訪する多くの人々の多様なニーズに応えるとともに、地域の特色を生かした様々な生産活動が営まれ、職・住・遊が一体となって豊かなくらしを実感できる、活力と魅力あふれる地域づくりに取り組んでいます。



主な取組み

* 1 交通のボトルネック

渋滞の著しい交差点や踏切、車線数の減少区間など、円滑な交通の流れが局所的に妨げられている地点または区間をいいます。

* 2 パークアンドサイクル

交通回遊性を高め、環境負荷を軽減するため、目的地から離れた駐車場へ駐車し、そこから目的地には自転車移動する取組みのこと。

* 3 置き砂

河川内にダム湖のしゅんせつなどで発生した土砂を置き、出水時に流下させ、河床低下の軽減や、河川環境の改善、海岸への土砂供給などを期待するものです。

* 4 堆積土砂

ダム湖や河川の中で、上流からの土砂供給により、堆積した土砂です。

* 5 土石流

山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象。時速20~70kmという速度で、周辺の木々や岩などを先端部に巻き込みながら進み、人家や田畑、道路を一瞬のうちに壊滅させてしまいます。

1 交流・連携の推進とそれを支える道路網などの整備

山梨・静岡両県などとの連携強化、市町の施設整備事業への支援に取り組んだほか、小田原環状道路などの広域的な道路や交通のボトルネック(*1)の解消を図る酒匂川2号橋の整備、真鶴港沖防波堤の整備などを進めました。

さらに、開成町南部などの土地区画整理事業や小田原駅東口お城通り地区の優良建築物等整備事業を促進したほか、酒匂川流域下水道処理場の整備・改築・更新を進めました。また、酒匂川・早川などの親水護岸や真鶴港海岸における自然回復型海岸の整備を進めました。



小田原環状道路・酒匂川1号橋

2 地域資源を生かした観光振興と地域に根づいた産業の振興

箱根地区の交通回遊性向上を検討するため、パークアンドサイクル(*2)などの社会実験を実施しました。また、横浜駅などにおける県西地域の観光物産展の開催をはじめとした県西地域の魅力発信や小田原木製品などの地域産業振興に向けた新商品開発・需要開拓事業に助成したほか、水源地域において地域に根ざした産業振興を推進し、都市住民との交流事業を行いました。

また、農産物の大型直売センターの整備支援や広域農道・農業用排水路などの整備のほか、畜産業への理解を深めるため、大野山乳牛育成牧場の「まきば館」における畜産交流教室を開催しました。



畜産交流教室・大野山乳牛育成牧場

3 地震などの自然災害に備えた災害に強いまちづくり

湯河原海岸の人工リーフの整備や真鶴港の港湾施設の再整備を行いました。また、唐沢川などで砂防施設や大涌沢などでは地すべり防止施設などの整備を進めるとともに、森戸川などの護岸整備を行いました。さらに、県道710号で道路情報板を更新するとともに、温泉地学研究所では、県西部地震など、地域で発生するおそれのある地震に関する調査・研究に取り組みました。



港湾施設の再整備・真鶴港

4 水源地域を支える環境保全対策の推進

県民と行政の協働による里地里山の保全活動、ニホンザルの被害防除対策、不法投棄の未然防止対策などを実施しました。

また、森林整備やダム上流域の生活排水対策など市町が主体的に進める水源環境保全・再生の取組みを支援しました。

砂浜の回復・保全のため、小田原海岸において、養浜を実施するとともに、酒匂川中下流の堆積土砂(*3)の移動と三保ダム直下への置き砂(*4)を行いました。



住宅地へ出没したニホンザル

地域圏の課題と今後の対応方向

交流と連携を支える社会資本整備を進めるとともに、特色ある自然や歴史・文化などの豊かな地域資源を発掘・活用し、都市部との交流の拡大や地域内外の回遊性の向上を図り、地域の活力を高める取組みを進めます。

また、企業誘致や経営環境の変化に対応した都市型地域産業の振興を促進するほか、都市住民との交流を通じた農林水産業の新たな展開を図るとともに、大規模地震や土石流(*5)などの自然災害対策などにより住民の安全を確保していきます。